

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
67

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



- 小出陽子 (Yoko KOIDE)
- 一級建築士。2000年、UNESCO 遺跡保存オ
- フィス建設のため、カンボジアに赴任。2005
- 年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Mo
- 」をオープンする。現在は、建築設計とレストラ
- ン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺
- 跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人
- 材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援
- 活動を行っている。

MoiMoi Life in Siem Reap

Let Us All Build a Junior High School!

A new junior high school is scheduled to open in October, with the building standing in the middle of fields, located northwest of the former capital Angkor Thom. The school is called "Bayon", named after temple ruins. The school building is based on the conventional school structure in Cambodia, but with better ventilation, lighting and rainwater utilization, with a gallery space at the entrance.

Residents were asked to participate in the building process to raise their interest and awareness. Villagers suggested holding a charity event to collect donations, the enthusiasm catching on.

Less than 10% of children currently go onto junior high school in this area and we aim to improve it to 100% within ten years. We also intend to eventually evolve this public junior high school into a university.

みんなで中学校をつくろう！

この原稿を書いている時点で10月の開校まであと1カ月と迫り、急ピッチで建設が進んでいる村の新中学校。キャツサバ畑とブッシュが広がる荒野の一角に、ぽつんと真新しい校舎が立ち上がることになりました。アンコール時代の都(みやこ)であったアンコール・トムの北西に立地することから、学校名は「バイヨン中学校」と、なんとも神々しい名前を拝受することになりました。校舎は、従来のカンボジアの学校教室を基本に、通気、採光、雨水利用、素材等に工夫を加え、エントランスには小さなギャラリー空間をつくりました。

学校建設にあたって何よりも重視したのは、地域住民が「学校」や「教育」に関心を持つことでした。そのため、住民には、学校をつくるプロセスから参加してもらいました。大人たちには外周柵の製作を、子供たちには校庭の植樹を任せ、村の子供たちの教育の現状を説明するワークショップを開いたりもしました。その結果、村人の

提案で、カンボジアの伝統的な募金祭「ポン・プカーブラツ」が開かれたり、敷地の草刈りが行われたりと、皆で村の中学校を盛り上げていこうという機運が高まってきました。

現在、中学進学率が1割以下のこの地域を、10年以内に100%にすること。公立の中学校として誕生するこの学校を、高校↓専門学校↓大学へと進化させること。私

のひそかな目標は、今から131年前の明治初期、都の西北(せいほく)に東京専門学校として設立された私の母校、早稲田大学です。



伝統行事「ポン・プカーブラツ」を行う村人たち
Villagers participating traditional charity event